



普及センターだより

ここをひとつに

～めざそう! 農林水産大臣賞・産地賞～ 全国茶品評会が京都で開催

今年、第67回全国茶品評会が京都府で開催されます。産地全体で品評会への取組を積極的に進めて、生産技術を高めましょう。優秀な成績をおさめて、宇治茶のブランド力をいっそう高めましょう。

<出品茶づくりのポイント>

基本を大切に、周至な準備をしましょう

- ◎ 芽出し肥として萌芽期までに速効性肥料を施用
- ◎ 情報収集と万全な準備で気象災害の予防を徹底
- ◎ 茶園をよく観察し、正しい防除、適期被覆、適期摘採
- ◎ 茶摘みさんに摘み方を周知徹底して芽揃い向上
- ◎ 製茶機械の点検と清掃を徹底(事故やケガに十分注意)

地域で
一丸となって
取り組もう!

各地で入賞を
めざして対策を
進めています

- ・ 出品対策研修会 玉露の部……………平成24年12月11日実施
- ・ 出品対策研修会 普通煎茶の部……………平成25年 1月21日実施
- ・ 宇治市研修会 (てん茶・玉露) ……平成25年 2月19日実施
- ・ 宇治田原町研修会 (かぶせ茶・玉露) ……平成25年 2月27日実施

しっかりと茶園を
観察しましょう



全国茶品評会普通煎茶の部 出品対策研修
主催:山城北・南農業改良普及センター



情報を集め、準備を
整えましょう

特集 農の未来をともに拓く

「京やましろ新鮮野菜」のロゴマーク決定～認証制度がスタート!～

「やましろ新鮮野菜応援プロジェクト」では、山城産野菜の商品力と知名度を上げるため、ロゴマークの公募を行い、221点の応募作品の中から右記のマークを決定しました。

ロゴマークは、のぼりやポスター、シールなどに使用し、販売促進を強化します。

今年7月からは、京やましろ新鮮野菜産地銘柄認証制度がいよいよスタートします。ロゴマークを付けて「京やましろ新鮮野菜」として販売したい生産者の方を募集します。多くの方の参加をお願いします!



京都やましろ

新たな農業経営の道!「アグリビジネス」に向けて前進



自分たちの商品を企業にアピール



普及センターでは、平成24年9月から全6回でアグリビジネス研修会を開催しました。受講した28名の農業者は、熱心な女性、意欲満々な男性、元気な後継者等で、お互いに刺激あって学習しながら、ビジネスプランを練り上げました。

現在、各自のプランの実現に向けて、加工品の試作を繰り返す人、企業と委託加工の具体化を進める人、府内全域の商談会に参加する人等、多種多様な場面で積極的にチャレンジしています。

聴覚障害者の方々が野菜産地の新たな担い手に!

J A 京都やましろの生産部会が行っている「田辺ナス農家養成塾」「えびいも農家養成塾」は、本格的に栽培を始めたい方を対象に、技術研修をしています。

京都聴覚言語障害者福祉協会が京田辺市に設置する「山城就労支援事業所」では、障害者の自立に向けて農業が役立つと考え、これらの塾に参加されています。昨年は、養成塾で身に付けた技術を生かし、ナスとえびいもを各4a栽培し、部会の一員として立派な収穫物を出荷されました。今後も規模拡大される予定です。普及センターでは、さらに加工販売等のアグリビジネスへの展開も支援しています。



研修内容を事業所職員が手話で通訳

お知らせ

◎担い手農家養成塾を開講

- 京田辺市 ナス養成塾(第4期) 1月23日開講
- 京田辺市 えびいも塾(第2期) 2月22日開講
- 全域 万願寺とうがらし塾(第2期)2月13日開講
- 宇治田原町 キュウリ塾(第3期)6月開講予定

◎就農者基礎講座を開講

- 平成25年5月～11月(全16回予定)
- 山城管内の就農5年未満の農業者が対象

◎アグリビジネス研修会を開催

- 平成25年5月～12月(4月頃募集予定)
- 農商工連携、6次産業化等に関心のある方
- ※ 詳細は、普及センターまでお問い合わせください。

普及センターでは、産地の活性化や担い手の支援を通して、未来の農業を考えています。

若手農業者が頑張っています！

農業経営に熱心に取り組み、若手農業者のリーダーや地域の担い手として活躍しておられる下記の方々が、平成24年度京都府若手農林漁業者表彰を受賞されました。

その中から3人の方を紹介します。

氏名	市町村名	部門
江口 武司さん	宇治市	酪農
江口 朋宏さん	宇治市	野菜
望月 藤嗣さん	城陽市	野菜
長村 吉展さん	八幡市	野菜
安田 新吾さん	八幡市	野菜、水稻
杉田 充さん 杉田智恵美さん	京田辺市	水稻、茶、野菜
森田 裕一さん 森田 真希さん	木津川市	茶
松本 幸典さん 松本 真弓さん	和束町	茶

おさむら よしのぶ 長村 吉展さん (八幡市)



長村さんの経営は、コマツナ・キュウリのハウス栽培を中心に水稻などです。特にコマツナは、「八幡市野菜の会」の一員として消費者の立場に立った袋詰め形態で出荷されています。

J A職員であった経験を生かし、八幡市農業青年クラブ(YAC)の役員も歴任、地域の若手リーダーとして人望も厚く、地域農業に貢献されています。

「まわりの方々に恵まれ、とてもやりがいを感じている」と、長村さん。「これからもコマツナを中心に生産性や品質を極め、環境にやさしい野菜づくりを推進したい。将来は企業的な農業経営の安定をめざしていきたい。」とおっしゃっています。

すぎた みつる 杉田 充さん (京田辺市)



杉田さんの経営は、トマトの養液栽培を中心に水稻と茶です。トマトは黄色粘着テープや細霧冷房等を地域で先駆けて導入され、環境にやさしい高品質な栽培を実践されています。

経営主になった現在は、トマトや茶は家族と役割分担して効率的な管理を行い、杉田さんは経営全体の目配りと新たに水稻の面積拡大にチャレンジされています。

「トマト倶楽部の部長やJ A京都やましろ青壮年部の支部長を経験するなかで、地元若い農業後継者が少ないことや、農地の遊休化が進みつつあることを痛感した。先輩として次世代のモデルとなる経営を実践し、関係機関と協力して新規就農者を育てる取組にも貢献していきたい。」と話してくださいました。

もりた ゆういち 森田 裕一さん (木津川市)



森田さんは、木津川市山城町で、てん茶を生産されています。近年、乗用型摘採機の導入とともに経営面積の拡大をすすめる一方で、農業委員としても活躍され、地域の農業振興の中心的な役割を担っておられます。

また、荒茶の製造にとどまらず、独自の抹茶販売ルートを模索するなど、新たな分野にも意欲を持って取り組んでおられます。

「農業経営は厳しいけれど、楽しさややりがいを感じています。今後は茶の品質向上をめざすとともに、抹茶を使った商品開発など、6次産業にも目を向けたい。こうした挑戦が宇治茶の発展につながってくればと思っています。」と語ってくださいました。

京力農場プランづくりを支援

京都府では、農地と担い手を組合せ、今後の農業の展望を開き、農地活用を推進するために、「京力農場プラン」づくりを推進しています。普及センターでは市町村と共に担い手への農地集積など地域の合意形成に向けた取組について支援を行っています。

～余裕のある作業で、事故を防ぎましょう～

平成24年度 新規認定「農の匠」(京都府農山漁村伝承優秀技能)の紹介

京都府農山漁村伝承技能として登録された技能の中から、極めて希少価値が高く優秀と認められる技能保持者の方々が、知事から「農の匠」として認定されました。

「碾茶の栽培・製造」菊岡政次さん(城陽市)

よしすやワラの天然被覆資材、魚由来の有機質肥料の使用、一番茶のみを手摘みする自然仕立てによる、最高級碾茶生産技術で、地域の茶業を牽引されています。



「宇治茶の栽培・加工」木野正男さん(南山城村)

優良品種と茶種を組み合わせ適期摘採を行い、高度な整枝技術と周到的な肥培管理により、良質な生葉を生産するとともに、生葉の素質を引き出す製茶加工技術で、最高品質の煎茶を生産されています。



平成24年度 新規認定農業士のみなさんです



○指導農業士

氏名	市町村名	部門
奥田 善浩さん	宇治田原町	茶、古老柿、水稻
福仲 稔さん	南山城村	茶、椎茸、水稻

○女性農業士

氏名	市町村名	部門
藤田美栄子さん	宇治田原町	茶、野菜、古老柿、水稻
松下 孝代さん	木津川市	水稻、茶
草嶋 邦子さん	精華町	花苗、水稻

○青年農業士

氏名	市町村名	部門
森島 範紘さん	城陽市	花き、水稻
上杉 篤さん	八幡市	野菜
渋谷 昌樹さん	八幡市	野菜
永田 紘一さん	宇治田原町	茶、野菜、古老柿、水稻

直売所紹介

久御山町の「旬」をお届けします

「旬菜の里」はイオン久御山店の敷地内に、平成16年にオープンしました。

会員数は約120名、久御山町内で生産された



米や野菜、果物、切り花、もちなど約170種類の農産物や加工品が販売されています。昨年はJA女性部の「塩麴」がヒットしました。

消費者との交流会や地元産野菜の学校給食への利用促進、新米・夏冬野菜フェア、食育の推進(料理講習会等への食材提供)など様々な活動に取り組んでいます。

安心安全な農産物を届けるため、農薬安全使用等の研修会や残留農薬検査を定期的実施し、レジスタッフ2名が農薬管理指導士の資格も取得しがんばっています。

～築いていこう 男女共同参画社会～